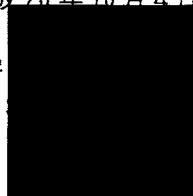


厚生労働大臣

殿

学校法人 愛知医科大学
理事長 加藤延

愛知医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	120人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医 師	346人	148人	360.2人	看護業務補助	28人	診療エックス線技師	人
歯科医師	13人	12人	13.3人	理学療法士	15人	齧床検査技師	63人
薬剤師	64人	5人	67.1人	作業療法士	6人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	2人	検査その他	人
助産師	18人	人	18.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	718人	27人	732.8人	臨床工学技士	11人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	14人	人	14.0人	栄養士	人	その他の技術員	39人
歯科衛生士	3人	人	3.0人	歯科技工士	2人	事務職員	65人
管理栄養士	13人	人	13.0人	診療放射線技師	38人	その他の職員	21人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	651.1人	5.4人	656.5人
1日当たり平均外来患者数	1,896.7人	66.4人	1,963.1人
1日当たり平均調剤数		2,994.6剤	

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を曆日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
インプラント義歯	有・無	3人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
成長障害のDNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
神経変性疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
重粒子線治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
31燐一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
臍腫瘍に対する腹腔鏡補助下臍切除術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・韌帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	9人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宫体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/>	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	65人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	19人
・多発性硬化症	60人	・ウェゲナー肉芽腫症	156人
・重症筋無力症	110人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	12人
・全身性エリテマトーデス	478人	・多系統萎縮症	4人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	38人	・膿泡性乾癥	5人
・サルコイドーシス	316人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	6人	・原発性胆汁性肝硬変	0人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	286人	・重症急性膵炎	10人
・特発性血小板減少性紫斑病	146人	・特発性大腿骨頭壊死症	42人
・結節性動脈周囲炎	17人	・混合性結合組織病	33人
・潰瘍性大腸炎	206人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	32人	・特発性間質性肺炎	16人
・ビュルガー病	47人	・網膜色素変性症	39人
・天疱瘡	27人	・プリオント病	0人
・脊髄小脳変性症	38人	・原発性肺高血圧症	6人
・クローン病	47人	・神経線維腫症	28人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	13人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	319人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	33人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3人
・後縦靭帯骨化症	113人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1か月に3回程度	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 26 例	剖検率 4.4 %

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助又は委託元
非アルコール性脂肪性肝炎発症におけるストレスおよび中枢性神経ペプチドの関与	米田 政志	消化器内科	2,080,000	(補)委 日本学術振興会
肝細胞内情報伝達系におけるADAMの機能とC型肝炎ウイルスによる抑制機構の解析	中尾 春壽	消化器内科	2,080,000	(補)委 日本学術振興会
GM-CSF吸入による重症特発性肺胞蛋白症の治療研究	山口 悅郎	呼吸器・アレルギー・内科	4,350,000	(補)委 文部科学省
アレルギー疾患の治療反応性予測因子の確立及びテラーメイド治療法の確立に関する研究	山口 悅郎	呼吸器・アレルギー・内科	2,000,000	(補)委 厚生労働省
サルコイドーシスの遺伝要因	山口 悅郎	呼吸器・アレルギー・内科	400,000	(補)委 厚生労働省
サルコイドーシスのtranscriptome scan	山口 悅郎	呼吸器・アレルギー・内科	2,900,000	(補)委 文部科学省
筋ジストロフィーおよびその関連する疾患の病態生理の解明と治療薬物の開発に関する研究	佐橋 功	神経内科	1,500,000	(補)委 厚生労働省
小児造血器腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究	鶴澤正仁	小児科	500,000	(補)委 厚生労働省
小児の難治性白血病、骨髄異型性症候群におけるゲノム異常の解析と治療法に関する研究	鶴澤正仁	小児科	300,000	(補)委 厚生労働省
MRD定量に基づく層別化を取り入れた小児急性リンパ性白血病治療研究	鶴澤正仁	小児科	4,000,000	(補)委 がんの子供を守る会
AML-05プロトコール治療における骨髄再構築過程の多次元フローサイトメトリーを用いた解析	鶴澤正仁	小児科	8,000,000	(補)委 がんの子供を守る会
三次元形状測定装置による下肢容積の測定	岩田博英	血管外科	500,000	(補)委 文部科学省
男性ホルモン低下に起因する老年病の治療戦略とその機序に関する総合研究	若槻明彦	産婦人科学	1,000,000	(補)委 厚生労働省
心血管疾患の発症予防を目的とした新しいホルモン補充療法の開発	若槻明彦	産婦人科学	2,340,000	(補)委 日本学術振興会
頭頸部癌におけるガラニンおよびガラニンレセプターの意義	小川徹也	耳鼻咽喉科	2,210,000	(補)委 文部科学省
周術期肺炎の分子標的治療；新規炎症抑制性蛋白の単離同定	朝倉 雄介	麻酔科学	1,690,000	(補)委 日本学術振興会
髄節リウマチのS100A8/A9タンパクによるマクロファージ活性化機構の解明	山村昌弘	リウマチ科	1,430,000	(補)委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助又は委託元
関節リウマチにおける炎症性サイトカインによる骨形成障害の分子機構の解明	山村昌弘	リウマチ科	1,000,000	補委 公益信託第24回日本医学 会総会記念医学振興基金
睡眠障害医療における政策医療ネットワーク構築のための医療機関連携のガイドライン作成に関する研究	塩見利明	睡眠科	560000	補委 厚生労働省
ヘムキシナーゼ1による生体保護作用: バイオマーカーとしての呼気一酸化炭素	野口宏	救命救急科	1,040,000	補委 日本学術振興会
熱傷ストレス下における免疫異常と樹状細胞機能:CpGモチフによる免疫調整	武山直志	救命救急科	1,040,000	補委 日本学術振興会
アングiotンシンIIと急性肺障害:AT1受容体阻害による肺保護作用	野口裕記	救命救急科	1,500,000	補委 日本学術振興会
疖子コントロール体制の充実強化に関する研究	野口宏	救命救急科	500,000	補委 厚生労働省
救急救命士による救命救急処置に関する研究 (アナフィラキシーショックの救命率向上に關わる早期処置の妥当性との実施方法)	野口宏	救命救急科	2,500,000	補委 厚生労働省
輸血副作用把握体制の確立-特に免疫学的副作用の実態把握とその対応-	高本滋	輸血部	6,500,000	補委 厚生労働省
大量出血時の止血能の評価と輸血療法に関する研究	高本滋	輸血部	500,000	補委 厚生労働省
日本における血液製剤の副作用 サーベイランス体制の確立に関する研究	高本滋	輸血部	受領なし	補委 厚生労働省
日本における血液製剤の副作用 サーベイランス体制の確立に関する研究	加藤栄史	輸血部	受領なし	補委 厚生労働省
環状オリゴ糖包接型局所麻酔薬の創製とそのNaチャネル遮断効果の電気生理学的検証	新井健一	学際的痛みセンター	800,000	補委 日本学術振興会
関節不動化による患肢廃用モデル動物における神経系の機能変化に関する研究	牛田 享宏	学際的痛みセンター	1,300,000	補委 日本学術振興会

計 30

注意

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入。
- 2 「研究者氏名」欄は1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に○印を付けた上で、補助元又は委託元を記入。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gut	Transient elastography in Patients with Nonalcoholic Fatty liver Disease	米田 政志	消化器内科
International Journal of Biochemistry and Cell Biology	Peroxisome proliferator-activated receptor gamma (PPARgamma) regulates trefoil factor family 2 (TFF2) expression in gastric epithelial cells.	米田 政志	消化器内科
Regulatory Peptides	Regulation of TFF3 expression by homeodomain protein CDX2.	米田 政志	消化器内科
Journal of Gastroenterology	Comparison between endoscopic papillary balloon dilatation and endoscopic sphincterotomy for the treatment of common bile duct stones.	米田 政志	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol	Up-regulation of TFF1 (pS2) expression by TNF-alpha in gastric epithelial cells.	米田 政志	消化器内科
Circ J	Impact of Lipid-Lowering Therapy With Pitavastatin, a New HMG-CoA Reductase Inhibitor, on Regression of Coronary Atherosclerotic Plaque -A 3-Dimensional Intravascular Ultrasound Study-	Hiroaki Takashima	循環器内科
内分泌クリニカルカンファランス47 ホルモンと臨床2007夏期増刊号	気管支カルチノイドの下垂体転移により中枢性尿崩症と部分的下垂体機能低下症を発症した1例	森川 亮	内分泌・代謝・糖尿病内科
神経内科, 2007;66:137-144	抑止不能な特異な動き Painful legs and moving toes	佐橋 功	神経内科
Mitochondrion, 2007;7:399-401	Therapeutic potential of pyruvate therapy for mitochondrial diseases	Ibi T	神経内科
Neuropathology, 2007;294:456-465	MM1-type sporadic Creutzfeldt-Jakob disease with unusually prolonged disease duration presenting with panencephalopathic type pathology	Izumi M	神経内科
神経治療, 2007;24:725-730	Becker型筋ジストロフィーに対する losartanの長期経口治療	佐橋 功	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Brain and Nerve, 2008; 60:181-185	非階段状緩徐進行性対麻痺を示した脊髄血管内悪性リンパ腫症	中尾直樹	神経内科
J Neuropathol Exp Neurol, 2007;66:1027-1036	Nonmyelinating Schwann cell involvement with well-preserved unmyelinated axons in Charcot-Marie-Tooth disease type 1A	Doyu M	神経内科
J Biol Chem, 2007; 282: 28087-95	Disulfide bond mediates aggregation, toxicity, and ubiquitylation of familial amyotrophic lateral sclerosis-linked mutant SOD1	Niwa J	神経内科
J Neuropathol Exp Neurol, 2007;66:617-627	Gene expressions specifically detected in motor neurons (dynactin 1, early growth response 3, acetyl-CoA transporter, death receptor 5, and cyclin C) differentially correlate to pathologic markers in sporadic amyotrophic lateral sclerosis	Niwa J	神経内科
J Neurosci, 2007;27:5115-5126	CHIP overexpression reduces mutant androgen receptor protein and ameliorates phenotypes of the spinal and bulbar muscular atrophy transgenic mouse model	Doyu M	神経内科
Neuropathol Appl Neurobiol, 2007;33:135-151	Pathogenesis and molecular targeted therapy of spinal and bulbar muscular atrophy	Doyu M	神経内科
Int J Hematol 86:358-63, 2007	Acute myeloid leukemia with multiltneage dysplasia in children	鶴澤正仁	小児科
Int J Hematol 85:36-40, 2007	Survival outcome after the first central nervous system relapse in children with acute lymphoblastic leukemia:a retrospective analysis of 79 patients in a joint program involving the experience of three Japanese study groups.	鶴澤正仁	小児科
Paediatr Blood Cancer 2007;48:230-2	Development of diffuse large B cell lymphoma during the maintenance therapy for B-lineage acute lymphoblastic leukemia.	鶴澤正仁	小児科
『手術』5月臨時増刊号	【最新 肝胆膵手術アトラス】上・中部胆管癌に対する胆管切除(解説/特集)	伊藤暢宏	消化器外科
Microcirculation	Novel technique for estimating cerebrovascular permeability demonstrates capsazepine protection following ischemia-reperfusion.	Victoria Gauden	消化器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
手術	特集 QOLを考慮した胃癌手術 胃切除後逆流防止手術	宮地正彦	消化器外科
International Symposium on Primary Sysyemic Vasculitides 2008	The clinical and social consequence of Buerger's disease	太田 敬	血管外科
日本内科学会雑誌 15:346-350, 2008	特集 末梢動脈疾患(PAD):診断と治療の進歩 トピックス III. 治療と管理の実際 3. 外科治療	太田 敬	血管外科
愛知県特定疾患研究協議会研究報告書(平成17年度) 2007: p52-54	バージャー病の新臨床分類についての考察	太田 敬	血管外科
愛知県難病患者地域ケア調査 研究報告書(平成18年度) p. 10-19.	疾患の背景から見たバージャー病のQOL	太田 敬	血管外科
Sugery Today 37:305-307, 2007	Successful Treatment of an Aorto-ileal-conduit Fistula with an Endovascular Stent Graft:Report of a Case	iroyuki Ishibashi	血管外科
愛知医科大学医学会雑誌 35: 99-104、2007	Stent Graft for Thoracic Aortic Aneurysm Performed with Abdominal Aortic surgery	iroyuki Ishibashi	血管外科
現代医学 55: 37-41, 2007	腹部大動脈瘤に対する新しい治療ステントグラフト内挿術	石橋宏之	血管外科
第10回大動脈ステントグラフト研究会症例集X 35-38、2007	内腸骨動脈再建、ステントグラフト内挿術を施行した解離性腹部大動脈瘤の1例	石橋宏之	血管外科
静脈学 18: 49-53、2007	下肢静脈瘤患者における色素沈着の他覚的評価法	岩田博英	血管外科
J Vasc Surg 47:318-323, 2008	Clinical reliability and utility of skin perfusion pressure measurement in ischemic limbs-Comparison with other noninvasive diagnostic methods	山田哲也	血管外科
Neurosurg Rev 30:32-39, 2007	Prediction of rebleeding from angiographic features in vertebral artery dissecting aneurysms	Takagi T	脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuroscience 145:241-247, 2007	Phosphorylation of neuronal nitric oxide synthase at SER847 in the nucleus intermediolateralis after spinal cord injury in mice	Osuka K	脳神経外科
Neuroscience letter 424:175-178, 2007	Activation of c-jun in the rat basilar artery after subarachnoid hemorrhage	Inukai T	脳神経外科
脳外誌 16:618-624, 2007	頸椎後方到達法のinstrumentation	高安正和	脳神経外科
Clinical Neuroscience 25: 1378-1380, 2007	環軸椎亜脱臼	高安正和	脳神経外科
脳神経外科速報 18:4-15, 2007	私の手術戦略「低侵襲経口手術」	高安正和	脳神経外科
リウマチ科 2007.6;37:551-8.	人工関節術後感染とその対策 人工骨頭・人工股関節後感染の治療 一期的手術法を中心にして.	大塚博巳	整形外科
肩関節 2007.7;31:295-8.	Suture anchor法による鏡視下 Bankart修復術：2年以上経過例の成績と術後再発例の検討.	岩堀裕介	整形外科
痛みと臨床 2007.9;7;364-83.	【スポーツ障害による痛み】投球障害とその治療・予防.	岩堀裕介	整形外科
ペインクリニック 2007.10;28:S604-8.	運動器の痛みとその治療 疾患別痛みの治療の実践 ぎっくり腰 脊椎病態より診た診断と対処方法.	神谷光広	整形外科
Hip Joint 2007.10;33:374-6.	第3世代手技を用いたセメント固定人工股関節置換術の中期成績.	廣瀬士朗	整形外科
日本人工関節学会誌 2007.12;37:356-7.	Impaction bone grafting法を用いた大腿骨側再置換術のX線学的短期成績.	大塚博巳	整形外科
日本脊椎脊髄病学会雑誌 2007.12;18:785-92.	頸椎椎弓根スクリュー固定による先天性歯突起形成異常の後頭頸椎再建術.	森 将恒	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本生体電気・物理刺激研究会誌 2007.12;21:25-30.	脛骨開放骨折の遷延治癒例に対して超音波刺激を行った症例の検討。	齊藤正敏	整形外科
Cancer Gene Ther. 2007 Nov;14(11):918-26.	Oncolytic virotherapy with an HSV amplicon vector expressing granulocyte-macrophage colony-stimulating factor using the replication-competent HSV type 1 mutant HF10 as a helper virus.	Kohno SI	皮膚科
Photodermatol Photoimmunol Photomed. 2007 Oct;23(5):209-10.	Photodynamic therapy for the treatment of actinic cheilitis.	Kodama M	皮膚科
Arch Dermatol Res. 2007 Oct;299(8):399-403.	Construction of novel in vitro epithelioid cell granuloma model from mouse macrophage cell line.	Yanagishita T	皮膚科
Photodermatol Photoimmunol Photomed. 2007 Apr-Jun;23(2-3):95-7.	The effect of psoralen plus ultraviolet A in vitro in HUT-78 enhances by 5-aminolevulinic acid.	Akita Y	皮膚科
J Virol Methods. 2007 Sep;144(1-2):79-85.	Rapid detection of human herpesvirus 8 DNA using loop-mediated isothermal amplification.	Kuhara T	皮膚科
Eur J Dermatol. 2007 May-Jun;17(3):242-4.	Epstein-Barr virus-associated post-transplant lymphoproliferative disorder presenting with skin involvement after CD34-selected autologous peripheral blood stem cell transplantation.	Takahashi S	皮膚科
Int J Dermatol. 2007 Apr;46(4):400-2.	A case of keratitis-ichthyosis-deafness (KID) syndrome.	Watanabe D	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌 2007 ; 17 (13) : 2376-2377.	光線療法の理論と実際 最近のトピックス 光線力学的療法 (photodynamic therapy)	松本義也	皮膚科
Derma 2007 ; 132 : 142-149.	【最新外用薬治療戦略 私はこうしている】 外用ALA-PDTの実際	秋田洋一	皮膚科
発汗学 2007 ; 13 (2) : 50-53.	ボツリヌス毒素Aによる掌蹠多汗症の治療	清水宏和	皮膚科
臨床皮膚科 2007 ; 61 (3) : 270-272.	基底細胞癌の残存病変に対する光線力学的療法(PDT)の試み	山下範子	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arch Dermatol. 2008 Jan;144(1):19-21. No abstract available.	Successful treatment of toenail onychomycosis with photodynamic therapy.	Watanabe D	皮膚科
Int J of Urol 15:96-98, 2008	Solitary Brain Metastasis from pT1, G3 Bladder Cancer.	K Zennami	泌尿器科
日本更年期医学会雑誌	心疾患に対するHRTの位置づけ	若槻明彦	産科・婦人科
日本産科婦人科学会雑誌	WHI報告の問題点とHRTの今後	若槻明彦	産科・婦人科
Connective Tissue Research	Hyaluronan (HA) and Serum-derived hyaluronan-associated protein (SHAP)-HA complex as predictive markers of cervical ripening in premature labor.	Yabushita H	産科・婦人科
J. Aichi Med. Univ. Assoc.	Fetal heart rate response to the maternal exercise depends on gestational ages	Sekiya R	産科・婦人科
東海産科婦人科学会雑誌	妊娠29週に発症した劇症1型糖尿病の1例	大林幸彦	産科・婦人科
東海産科婦人科学会雑誌	妊娠初期に急速増大した子宮頸部すりガラス細胞の1症例	森 稔高	産科・婦人科
Orbit	Overview of the lacrimal canaliculus in microscopic cross-section.	Kakizaki H	眼科
Ophthal Plast Reconstr Surg.	Safe limits for the incisional area in a transcaruncular approach to the medial orbit and ethmoid sinus.	Kakizaki H	眼科
Ophthalmology.	Thyroid-associated inferior oblique myopathy.	Kakizaki H	眼科
Ophthal Plast Reconstr Surg.	Posterior layer advancement of the lower eyelid retractor in involutional entropion repair.	Kakizaki H	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ophthal Plast Reconstr Surg.	Reverse ptosis repair targeting the posterior layer of the lower eyelid retractor.	Kakizaki H	眼科
Jpn J Ophthalmol.	Cooling prevents induction of corneal damage by argon laser peripheral iridotomy.	Kataoka T	眼科
Can J Ophthalmol.	Uveitis in 2 cases of Turner's syndrome.	Tsunekawa H	眼科
Acta Anaesthesiol Scand 51(2): 267, 2007	The gender-related differences in the incidence of development of respiratory complications, and the role of estrogen.	Y. Asakura	麻酔科
ペインクリニック 28(3): 445, 2007	Retropharyngeal hematoma after stellate ganglion block: analysis of 27 patients reported in the literature	藤原祥裕	麻酔科
Journal of Clinical Monitoring and Computing 21: 21-30, 2007	A new index of the autonomic nervous balance and its clinical usefulness; a power law 1/f like scale of a spectral analysis of the heart rate variability	Yukio Goto	麻酔科
ペインクリニック 28(8): 1083-1091, 2007	超音波ガイド下星状神経節ブロック	柴田康之	麻酔科
Journal of Anesthesia 21, 2007	Anesthetic management of electroconvulsive therapy in a patient with a known history of neuroleptic malignant syndrome	Naoko Kato	麻酔科
ペインクリニック 28(8): 1064-1065, 2007	特集「ペインクリニック領域での超音波ガイド下神経ブロック」によせて	小松 徹	麻酔科
麻酔科学レビュー2007 —最新主要文献集— 121-125, 2007	バランス麻酔	小松 徹	麻酔科
Acta Anaesthesiol Scand 51(1), 2007	The attitude towards red blood cell transfusion for bleeding at childbirth in women	Y. Asakura	麻酔科
ペインクリニック 28(7): 1044, 2007	Influence of needle position on lumbar segmental nerve root block selectivity	柴田康之	麻酔科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anesth Analg 105(2): 550-551, 2007	A New Approach of Ultrasound-Guided Stellate Ganglion Block	Y. Shibata	麻酔科
Anesth Analg 105(3): 883, 2007	Transversus Abdominis Plane Block	Y. Shibata	麻酔科
Lisa 14(9): 914-918, 2007	レミフェンタニルと術後鎮痛法：末梢神経ブロック併用オピオイド主体バランス麻酔での使い方	柴田康之	麻酔科
American Journal of Physiology-Heart and circulatory 293(2): 959-967, 2007	Possible roles of neuropeptide YY ₃ -receptor subtype in rat aortic endothelial cell proliferation under hypoxia, and its specific signal transduction	Zhi-Yong Chen	麻酔科
ICUとCCU 31(7): 535-545, 2007	心拍リズム解析法による情動反応を含む自律神経機能の新しい評価法—特に意識障害者への適用の意義—	後藤幸生	麻酔科
麻酔 56: 1147, 2007	anoci-associationとバランス麻酔	小松 徹	麻酔科
麻酔 56: S39-49, 2007	麻酔科領域における心拍変動周波数解析の有用性	藤原祥裕	麻酔科
Lisa 14(11): 1108-1113, 2007	術後鎮痛としての末梢神経ブロック：腹部編	柴田康之	麻酔科
The New England Journal of Medicine 2518-2519, 2007	Low-Tidal-Volume Ventilation	Y. Asakura	麻酔科
現代医学	女性総合外来の現況と展望	伊吹恵里	総合診療科
救急医学 31(7): 808-809, 2007.	熱傷の局所療法 外来における熱傷治療	横尾和久	形成外科
救急・集中治療 19(9-10): 1255-1257, 2007.	会陰部熱傷	横尾和久	形成外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本形成外科学会誌 27(11): 798-802, 2007.	逆行性浅側頭動脈皮弁を用いた上眼瞼全層再建の1例	瀬見井明子	形成外科
日本形成外科学会誌 27(12): 855-858, 2007.	Congenital self-healing Langerhans cell histiocytosis の1例	小田真喜子	形成外科
J Endocrinol. 2008;196(3):601-13.	Simvastatin antagonizes tumor necrosis factor-alpha inhibition of bone morphogenetic proteins-2-induced osteoblast differentiation by regulating Smad signaling and Ras/Rho-mitogen-activated protein kinase pathway.	山村昌弘	リウマチ科
Acta Med Okayama. 2007;61(2):89-98.	Recruitment of CD16+ monocytes into synovial tissues is mediated by fractalkine and CX3CR1 in rheumatoid arthritis patients.	山村昌弘	リウマチ科
Biochem Biophys Res Commun. 2007;356(4):1004-10. Epub 2007 Mar 26.	TNF-alpha inhibits BMP-induced osteoblast differentiation through activating SAPK/JNK signaling.	山村昌弘	リウマチ科
J Lipid Res. 2007;48(4):768-81. Epub 2007 Jan 29.	The association of C-reactive protein with an oxidative metabolite of LDL and its implication in atherosclerosis.	山村昌弘	リウマチ科
medicina, 44 (7) : 1371, 2007. 7.	今月の主題 内科医が診る睡眠障害 Q&A—睡眠についての疑問に答える Q10 睡眠時無呼吸を生じやすい歯並びとは?	山田史郎	歯科口腔外科
日本口腔診断学会雑誌 第21巻第1号, 2008.3	抜歯後疼痛に対するロルノキシカム（ロルカム ^R ）の鎮痛効果に関する臨床検討	野村六也	歯科口腔外科
Clin Sci (Lond).	Continuous positive airway pressure increases heart rate variability in heart failure patients with obstructive sleep apnoea.	Usui K	睡眠科
日呼吸会誌	音響分析を施行した多系統萎縮症による睡眠呼吸障害の一例	篠邊龍二郎	睡眠科
老年医学	高齢者によくみられる睡眠障害と治療-睡眠時無呼吸症候群-	篠邊龍二郎	睡眠科
Medicina	循環器疾患と睡眠障害-心不全、不整脈など-	篠邊龍二郎	睡眠科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
睡眠医療	心血管病、メタボリックシンドロームと睡眠呼吸障害	篠邊龍二郎	睡眠科
臨床と研究	睡眠時無呼吸症候群、Pickwick症候群	篠邊龍二郎	睡眠科
血圧	睡眠障害と循環器疾患	篠邊龍二郎	睡眠科
心臓	心不全患者の睡眠呼吸障害のスクリーニング-心拍変動解析から	篠邊龍二郎	睡眠科
救急医学 2007;31;1097-1100	救急蘇生教育「市民教育」	中川 隆	救命救急科
救急医学 2007;31;1614-1615	不安定狭心症—多彩な症状を訴えた不安定狭心症の1例—	中川 隆	救命救急科
外傷初期看護ガイドライン JNTEC 2007;p95-98	小児の外傷. 日本救急看護学会 監修	中川 隆	救命救急科
プレホスピタルMook5 救急現場学へのアプローチ 2008; p52-60	救急現場学とデータ分析の実際	中川 隆	救命救急科
救急医学 2007;31;1132-1137	救急医療領域における感染症： Immunocompromised hostの病態生理 とその対策	武山直志	救命救急科
救急集中治療 2007;19;1167-1172	重症熱傷の初期診療：重症度評価と 転送判断	武山直志	救命救急科
侵襲と免疫 2007;16;3-10	外科患者に対する投与熱量の質と量	武山直志	救命救急科
Annals of Hematology 2007;86;787-792	Selective expansion of the CD14+/CD16bright subpopulation of circulating monocytes in patients with hemophagocytic syndrome	Takeyama N	救命救急科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本救急医学会雑誌 2007;18;775-780	ADAMTS13活性低下を伴った血小板減少症にSymmetrical peripheral gangreneを認めた敗血症の1例	矢吹 輝	救命救急科
Forensic Toxicol 2007;25;8-15	An automated on-line method for simultaneous analysis of phenothiazines in human serum by high-performance liquid chromatography/sonic spray	Ruri Aoki	救命救急科
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 2007;11;66-71	PMX-DHPの好中球表面抗原発現に及ぼす影響	熊谷常康	救命救急科
日本臨床麻酔学会雑誌	病院輸血部は麻酔科医の協力者である	加藤栄史	輸血部
日本輸血細胞治療学会誌	東海地区の医療機関における輸血感染症対策の現状、－輸血感染症対策に関するアンケート調査報告－	安藤高宣	輸血部
Vox Sanguinis ISBT Science Series	Experience of cytotoxic T lymphocytes therapy for malignancy	Takamoto S	輸血部
日本輸血細胞治療学会誌	濃厚血小板に混入したMSSAにより発症した敗血症の1例	宇留間元昭	輸血部
血液フロンティア	ECO(enzymatically converted O cells)	加藤栄史	輸血部
Paediatr Anaesth. 2008 Feb;18(2):167-71	Maternal heart rate variability just before surgery significantly correlated with emergence behavior of children undergoing general anesthesia.	Arai YC	学際的痛みセンター
Acta Anaesthesiol Scand. 2008 Feb;52(2):285-8. Epub 2007 Nov 14	Induction and emergence behavior of children undergoing general anesthesia correlates with maternal salivary amylase activity before the anesthesia.	Arai YC	学際的痛みセンター
: Br J Anaesth. 2008 Jan;100(1):78-81. Epub 2007 Oct 24	Transcutaneous electrical nerve stimulation at the PC-5 and PC-6 acupoints reduced the severity of hypotension after spinal anaesthesia in patients undergoing Caesarean section.	Arai YC	学際的痛みセンター
Acta Anaesthesiol Scand. 2007 Aug;51(7):858-61. Epub 2007 Jun 18	Parental presence during induction enhances the effect of oral midazolam on emergence behavior of children undergoing general anesthesia	Arai YC	学際的痛みセンター

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anesth Analg. 2007 Jun;104(6):1352-5, table of contents	The effects of jaw thrust and the lateral position on heart rate variability in anesthetized children with obstructive sleep apnea syndrome.	Arai YC	学際的痛みセンター
日本ペインクリニック学会誌 14(1): 30	痛みと脳を考える 運動器における痛みの中核メカニズム	牛田享宏	学際的痛みセンター
西日本脊椎研究会誌 33(1)81-85	頸椎手術症例におけるせん妄の発症要因。	牛田享宏	学際的痛みセンター
日本脊椎脊髄病学会雑誌 18(2): 443.	人工圧受容器反射システムによる周術期および脊髄損傷患者の血圧コントロール-硬膜外電気刺激法の応用.	牛田享宏	学際的痛みセンター
日本整形外科学会雑誌 81(8): S846.	前肢廃用モデル動物における頸部脊髄細胞の神経組織学的变化 C-Fosと神経ペプチドについての検討	牛田享宏	学際的痛みセンター
臨床整形外科 42(6): 511-517.	整形外科疾患における痛みの研究 運動器の痛みと脳の反応	牛田享宏	学際的痛みセンター
脳神経外科ジャーナル別冊 vol. 17 no. 3	痛みの脳神経外科治療 疼痛に関する脳機能画像：最近の知見とその臨床応用	牛田享宏	学際的痛みセンター
理学療法MOOK 3 三輪書店	疼痛の理学療法 慢性痛の理解とエビデンス 第2版 学際的痛みセンター	牛田享宏	学際的痛みセンター
Acta Anaesthesiol Scand	Epidural puncture can be confirmed by the Queckenstedt-test procedure in patients with cervical spinal canal stenosis.	牛田享宏	学際的痛みセンター
臨床脳波 49(7)	【痛みと痒み】 仮想(擬似)痛み経験に伴う脳活動部位の検討	牛田享宏	学際的痛みセンター
臨床脳波 49(3)	圧迫性脊髄症における脊髄誘発電位の波形変化のメカニズム (脊髄誘発電位)	牛田享宏	学際的痛みセンター
西日本脊椎研究会誌 33(1): 109.	ムチランス型RA頸椎病変に対する後頭骨スクリュー・椎弓下テーピングによる後頭頸椎後方固定術	牛田享宏	学際的痛みセンター

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
中国・四国整形外科学会雑誌 19(2): 342.	難治性膝関節痛に対する高周波熱凝固法の有効性と限界。	牛田享宏	学際的痛みセンター
日本整形外科学会雑誌 81(3)	重度内側型変形性膝関節症に対する局所ラジオ波治療。	牛田享宏	学際的痛みセンター
The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 44(Suppl.): S435.	高齢者の慢性膝関節痛に対する高濃度局所麻酔薬での疼痛コントロールの可能性	牛田享宏	学際的痛みセンター

計145

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）
 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 伊藤隆之
管理担当者氏名	医事課 羽根田雅巳, 病院管理課 生田芳文, 地域医療連携課 秋田高典, 薬剤部 長谷川高明, 医療安全管理室 野浪敏明, 感染制御部 三鴨廣繁

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院事務部 各科外来 薬剤部 中央カルテ室	病歴資料については、一患者一番号でカルテと一体になっている。 外来分は各科外来、入院分は中央カルテ室で保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院管理課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院管理課	
	閲覧実績	医事課 病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	確規保則の第9条の2及び第11条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況		
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況		

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の1各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	臨床工学部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 羽根田雅巳
閲覧担当者氏名	医事課長 羽根田雅巳 病院管理課長 生田芳文
閲覧の求めに応じる場所	会議室又は医療情報部中央カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0件
閲 覧 者 別	医 師	延 0件
	歯 科 医 師	延 0件
	国	延 0件
	地 方 公 共 団 体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	50.1%	算 定 期 間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算	A : 紹 介 患 者 の 数		16,927人
出	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12,095人
根	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,062人
拠	D : 初 診 の 患 者 の 数		47,927人

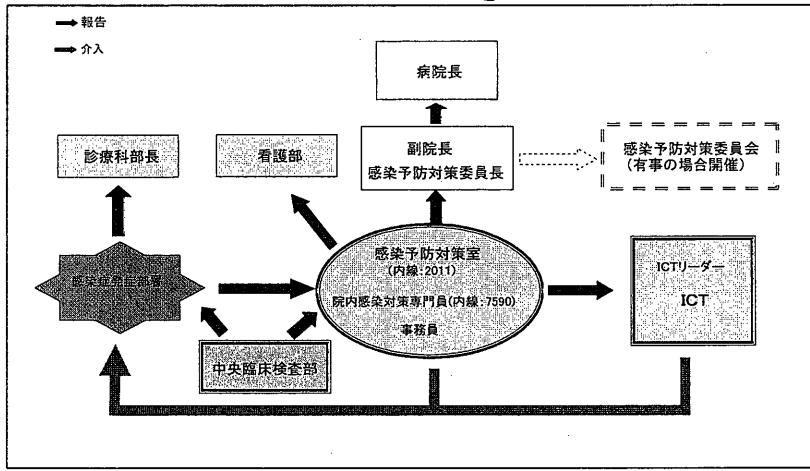
(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (2名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無
・ 所属職員： 専任（3）名 兼任（8）名 ・ 活動の主な内容： 1 医療の安全を確保するための改善方策に関すること。 2 医療安全管理のための職員の教育・啓発に関すること。 3 医療事故発生時の対応に関すること。 4 医療安全管理委員会の円滑な運営に関すること。 5 医療安全管理に関する院内の連絡調整 6 その他医療安全管理に関する業務	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： 1 安全管理のための基本的な考え方 2 安全管理の体制確保のための委員会 3 医療安全管理室の設置 4 医療安全管理者の設置 5 リスクマネージャーの設置	6 患者相談窓口の設置 7 医療事故発生時の対応方法等 8 安全管理のための職員研修 9 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： 1 医療の安全管理対策の検討及び推進に関すること。 2 医療の安全管理の情報交換に関すること。 3 医療の安全管理のための教育・研修に関すること。 4 その他医療安全管理に関すること。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年21回
・ 研修の主な内容： 1 医療安全講習会「 <u>行為・行動</u> -防止に必要な視点～アタとワシのちょっとしたズレ～」 2 医療安全講習会「医療の安全を願って」 及び講習会ビデオ上映会（2回） 3 AEDを使用した心肺蘇生法研修会（10回） 4 人工呼吸器に関する医療事故防止対策（3回） 5 職員ガイダンス「特定機能病院における安全管理体制について」（1回） 6 臨床研修医ガイダンス「当院の医療安全管理体制」（1回） 7 看護職員を対象とした各種医療安全に関する研修（1回） 8 AED付き治療用除細動器（TEC-7721）説明会（2回） 9 気管切開チューブを安全に使用するために（1回）	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容：	(有)・無
1 セーフティマネージャー会議の設置 2 医療安全管理マニュアル改訂版の配布と周知 3 心電図モニターアンテナ工事（4病棟施行し全院終了） 4 アクシデント、合併症・偶発症、クレーム報告の入力システムの改善 5 ナーシングトレイの購入と配備（「一患者、一処置、一トレイ」のルール化） 6 手術後における遺残確認のためのレントゲン撮影のルチーン化 7 手術室における麻薬管理の中央化 8 暴言暴力注意文の院内掲示 「暴力・騒乱行為対応連絡経路」のスタッフステーション掲示と周知 9 暴言・暴力対応専任スタッフの配置を要請 10 問題のある患者家族の病室に監視カメラを設置 11 メディセーフ・ミニ、ファインタッチの改良（テルモへ意見） 12 高濃度・酸素マスクの回収と配布	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

<p>① 院内感染対策のための指針の策定状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染のための委員会。その他の当該病院などの組織に関する基本方針 3. 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針 4. 感染の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他の当該病院等における院内感染対策推進のために必要な基本方針 	(有) ・無
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染予防対策の確立に関すること。 2. 感染予防の実施、監視及び指導に関すること。 3. 感染予防の教育に関すること。 4. 感染に関する事故等が発生した場合における原因究明に関すること。 5. その他感染予防に関すること。 <p>以上 1 ~ 5 に掲げる事項の審議</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 4 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染防止技術の基礎講座 (7回) ・ I C T 勉強会 (6回) ・ 院外講師による感染に関する講演会 (2回) ・ 新採用者研修 (看護師1回, 研修医1回) ・ 看護部レベル別感染に関する研修会 (3回) ・ 補助職員研修会 (1回) ・ 委託業者向け研修会 (3回) 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備</p> <p style="text-align: right;">((有)・無) ※下図参照</p>  <pre> graph TD Director[病院長] --> ViceDirector[副院長 感染予防対策委員長] Director --> InfectionPrevention[感染予防対策室 (内線:2011) 院内感染対策専門員(内線:7590) 事務員] VP --> InfectionPrevention VP -.-> Committee[感染予防対策委員会 (有事の場合開催)] InfectionPrevention <--> MedicalDepartment[診療科部長] InfectionPrevention <--> NursingDepartment[看護部] InfectionPrevention <--> CentralClinicalSupport[中央臨床検査部] InfectionPrevention -.-> ICTTeam[ICT チーム] InfectionPrevention -.-> ICT[ICT] </pre> <p>→ 報告 → 介入</p>	
<p>・ その他の改善の方策の主な内容 :</p> <p>SSIサーベイランスの実施, ICU全サーベイランスの実施, BSIサーベイランスの実施, 全病院サーベイランスの実施, ICTカウントの実施, リンクナース活動などのサーベイランスの実施とフィードバック</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(<input checked="" type="radio"/> 有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容： 医療安全のための医薬品適正使用についての講義	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成	(<input checked="" type="radio"/> 有)・無)
・ 業務の主な内容： 麻薬、向精神薬保管管理 ハイリスク薬管理	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備	(<input checked="" type="radio"/> 有)・無)
・ その他の改善のための方策の主な内容： J I S - D I などの情報システム導入し1回/月データを更新している。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：医療職員に対する人工呼吸器使用に関する安全講習 深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症の予防と装置の使用法 新規導入機器使用説明会 <p>専任技士対象：体外循環技術教育人工臓器セミナー・透析装置メンテナンス講習会 心臓ペースメーカー講習会</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (有)保守点検の主な内容： 人工呼吸器定期点検・使用後点検・使用中点検 麻酔器定期点検・マンスリーポイント検査 人工心肺装置定期点検・使用前点検 除細動装置定期点検・マンスリーポイント検査 放射線治療装置定期点検・日常点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有)その他の改善の方策の主な内容： 医薬品医療機器情報配信サービスをうけ、関係部署に通知及び改善を促している。	